市民による市民の農的活動支援への取り組み事例

比嘉農園（北名古屋市）について

- 市が運営する農業塾の卒塾生がはじめた都市型有機農園。2020年～。

- 消費者との連携を経営戦略に取り入れた農業ビジネスというより，生活者のネットワークの間から生まれた経営であるという点が注目される。
- 生活者による基本の農業を代わりにやってあげること，あるいは農業の基本的なやり方を教えてあげること・・・これを生業（ナリワイ）にしている。

②農業体験

アトラクションを体験する

①農産物の生産販売

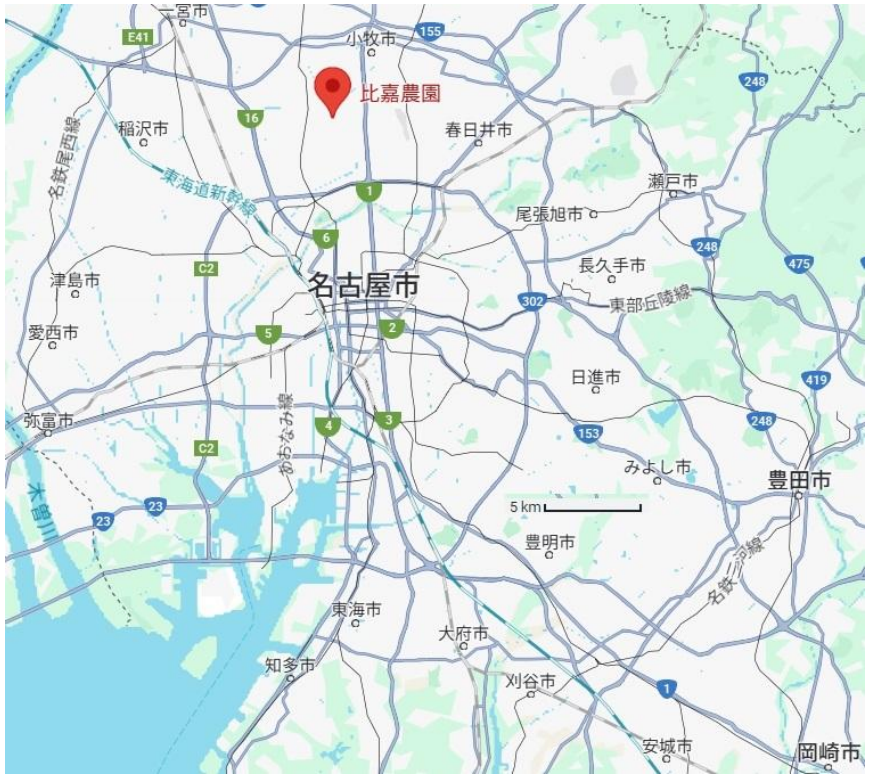
ディズニーランド

③啓発活動

好きなキャラクター
になりきる楽しみ

比嘉農園について ①

市内に分散する小さな農地を集め野菜をつくり，主に市内で直売



北名古屋市（旧西春町・師勝町）および隣接する小牧市に40ヶ所，
計2.5haの畑を確保。年間60品目を栽培

比嘉農園について ②

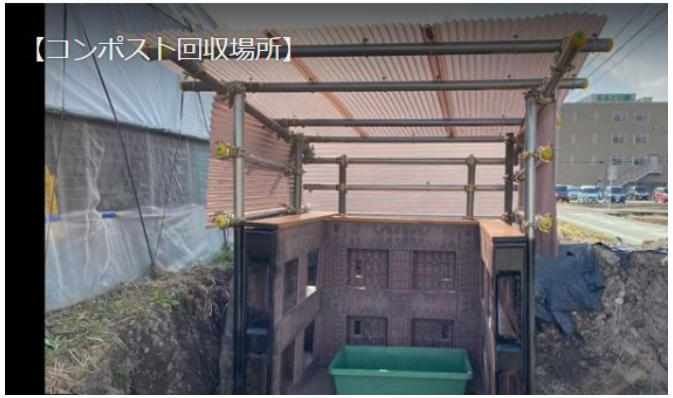
食育事業に力を入れており，
子育て世代を対象に農業教室を開いている

畑友は体験イベント

※ 保育園児，小学生の食育，
中学生の就労体験にも協力

比嘉農園について ③

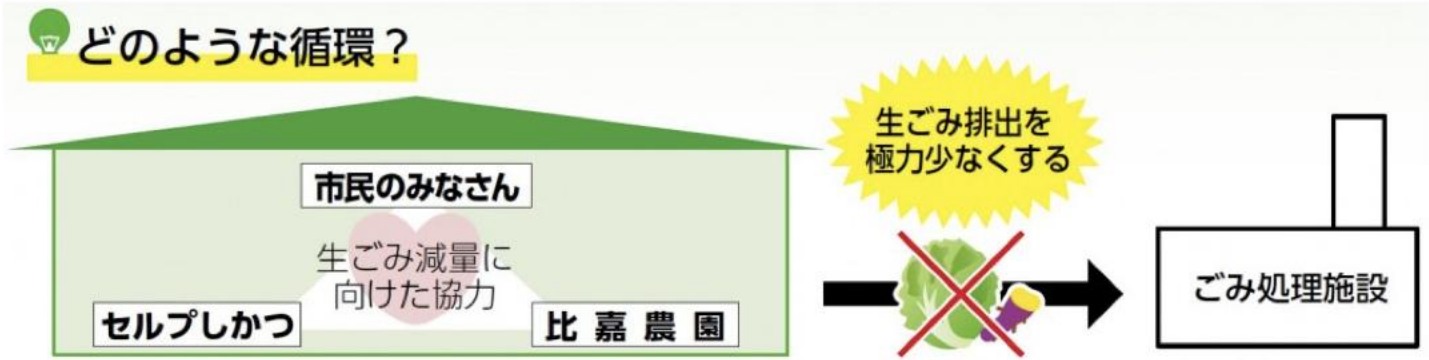
生ごみコンポストなど，市役所や学校，自治会等と連携して，
農業に関連した地域環境活動へ取り組んでいる



しかた（鹿田）げんき農園

※ 以上のような事業・活動の展開における農業塾
の同窓生とのつながりの意味は？

北名古屋市生ゴミ循環モデル



市民　＝　ダンボールコンポストの利用

セルプしかつ　＝　基材の販売・啓発

比嘉農園　＝　堆肥の有効活用（堆肥の引き取り）

北名古屋市　＝　循環モデルの推進

市役所内でコンポストの展示

※投入結果も随時更新中

参考) ダンボールコンポストから広がる地域の輪-北名古屋市 https://www.city.kitanagoya.lg.jp/kankyo/1300139.php(2024/7/23)

北名古屋市生ゴミ循環モデルの活動実績

- 堆肥持ち込み　令和４年→８基　令和５年→３２基　令和６年→４０基（見込み）
- 基材販売　令和４年→１６９基　令和５年→１８０基　令和６年→２００基（見込み）
- ごみ減量　令和４年→15,420kg　令和５年→16,425kg　令和６年→18,250kg（見込み）
- 推進活動　年１回コンポスト講座を20名規模で開催

  月１回地元マルシェ出店（繁忙期を除く）

  月１回コンポストお茶会を開催（繁忙期を除く）

以上，ご清聴ありがとうございました

暑い日が続きますが，みなさま，野菜と仲良く，くれぐれもご自愛ください。